

2025年3月期 第3四半期決算説明会

2025年1月31日



大同特殊鋼株式会社

■ 24年第3四半期決算の概要

- ✓ 前年対比は、前期に不動産の売却益（72億円）を計上したことなどから、営業減益。
調整後営業利益は、自由鍛造品の旺盛な受注を出荷に結び付けたことで増益。
- ✓ 足元3Qでは為替差損益、冬季電力高騰を見据えた在庫積み増しによる固定費負担の軽減効果、鉄スクラップスライドギャップなど一時的な増益要因が発生。

(千t・億円)

	2023年 第3四半期 (IFRS)			2024年 第3四半期 (IFRS)			前年差	
	上期	3Q	合計	上期	3Q	合計	うち10-12	合計
鋼材売上数量	529	286	815	519	263	782	-23	-33
売上収益	2,872	1,516	4,388	2,834	1,506	4,340	-10	-48
営業利益	177	204	381	183	158	341	-46	-40
(調整後営業利益) ※	(179)	(148)	(327)	(207)	(133)	(340)	(-15)	(+13)
税引前利益	190	216	406	196	171	367	-45	-39
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	118	169	287	122	110	232	-59	-55

※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税（平準化）を補正

■ セグメント別売上収益・営業利益（前年差）

（億円）

	2023年度実績		2024年度実績								前年差	
	第3四半期		1Q		2Q		3Q		第3四半期			
	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益
特殊鋼鋼材	1,675	123	534	33	521	28	549	51	1,604	112	-71	-11
機能材料・ 磁性材料	1,531	84	497	30	504	21	530	55	1,531	106	0	22
自動車部品・ 産業機械部品	786	54	272	28	265	21	301	39	838	88	52	34
エンジニアリング	171	17	46	2	60	6	57	5	163	13	-8	-4
流通・サービス	225	103	72	8	63	6	69	8	204	22	-21	-81
合計	4,388	381	1,421	101	1,413	82	1,506	158	4,340	341	-48	-40
〔調整後 営業利益 ※〕		(327)		(98)		(109)		(133)		(340)		(+13)

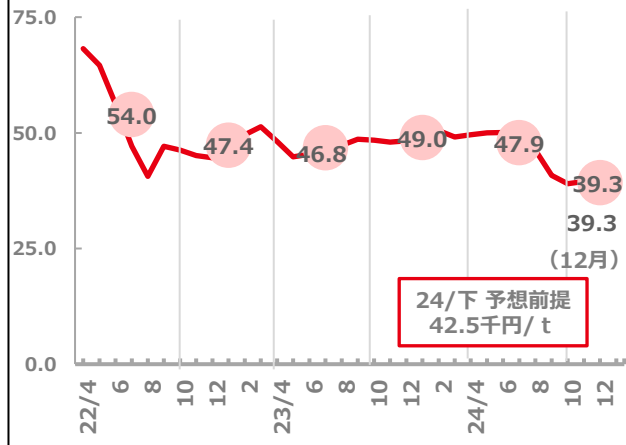
※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税（平準化）を補正

（千t）

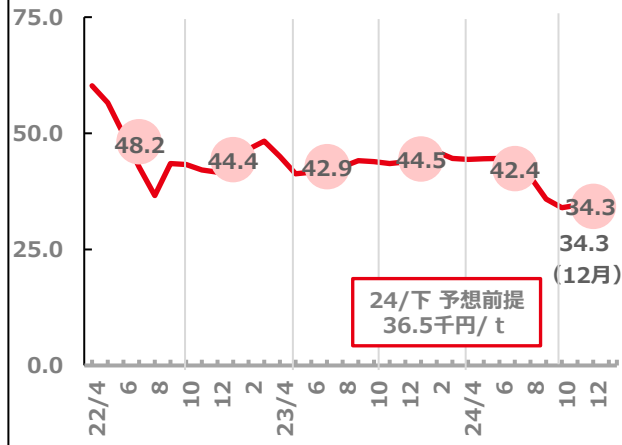
鋼材売上数量 （単体）	815	262	257	263	782	-33
----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

■ 原材料価格

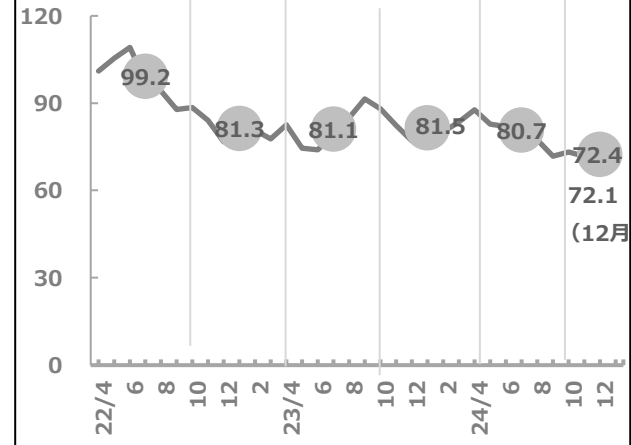
新断(千円/t)



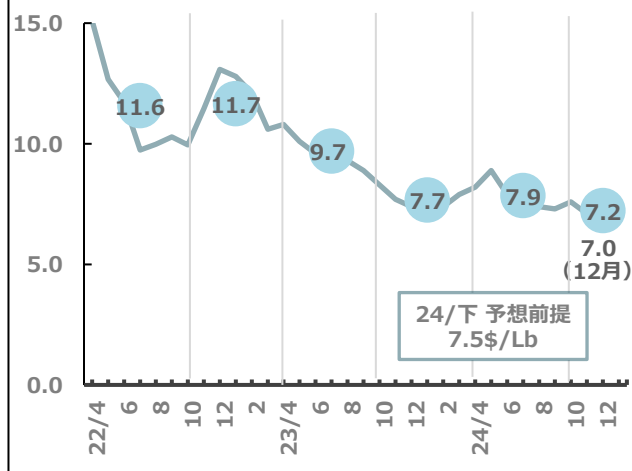
H2(千円/t)



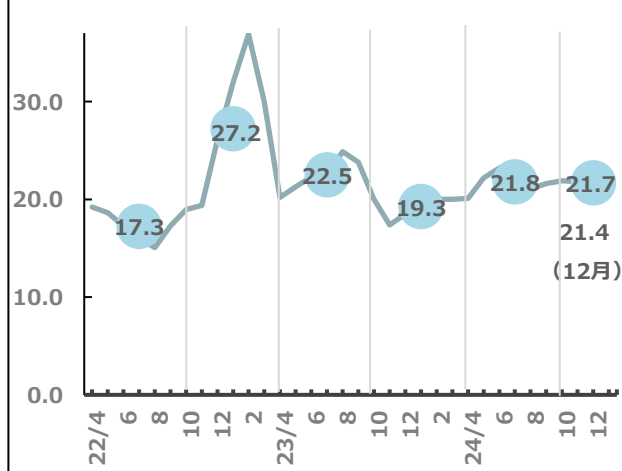
原油トバイ(\$/B)



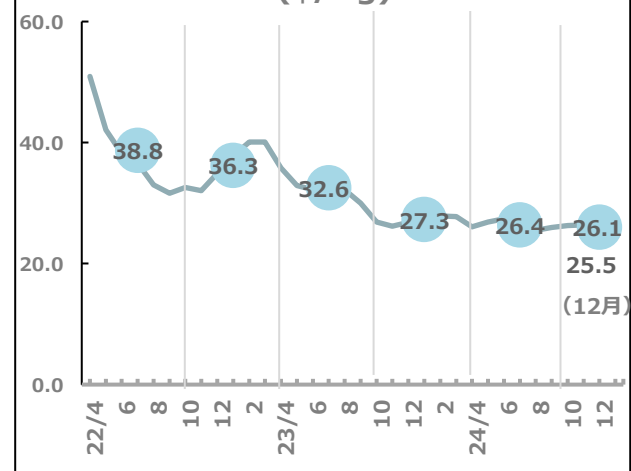
NI(\$/Lb)



Mo(\$/Lb)

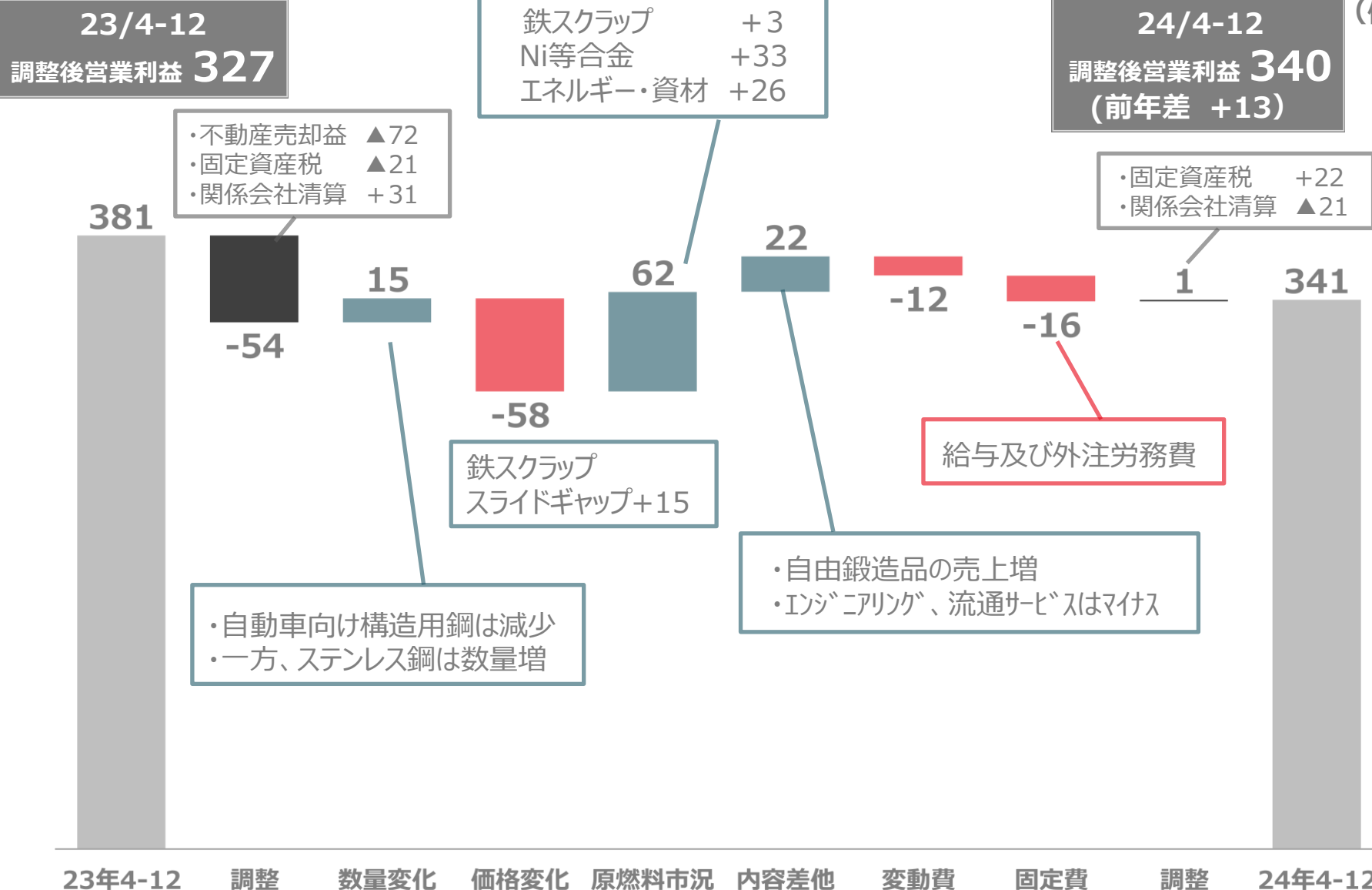


V(\$/Kg)



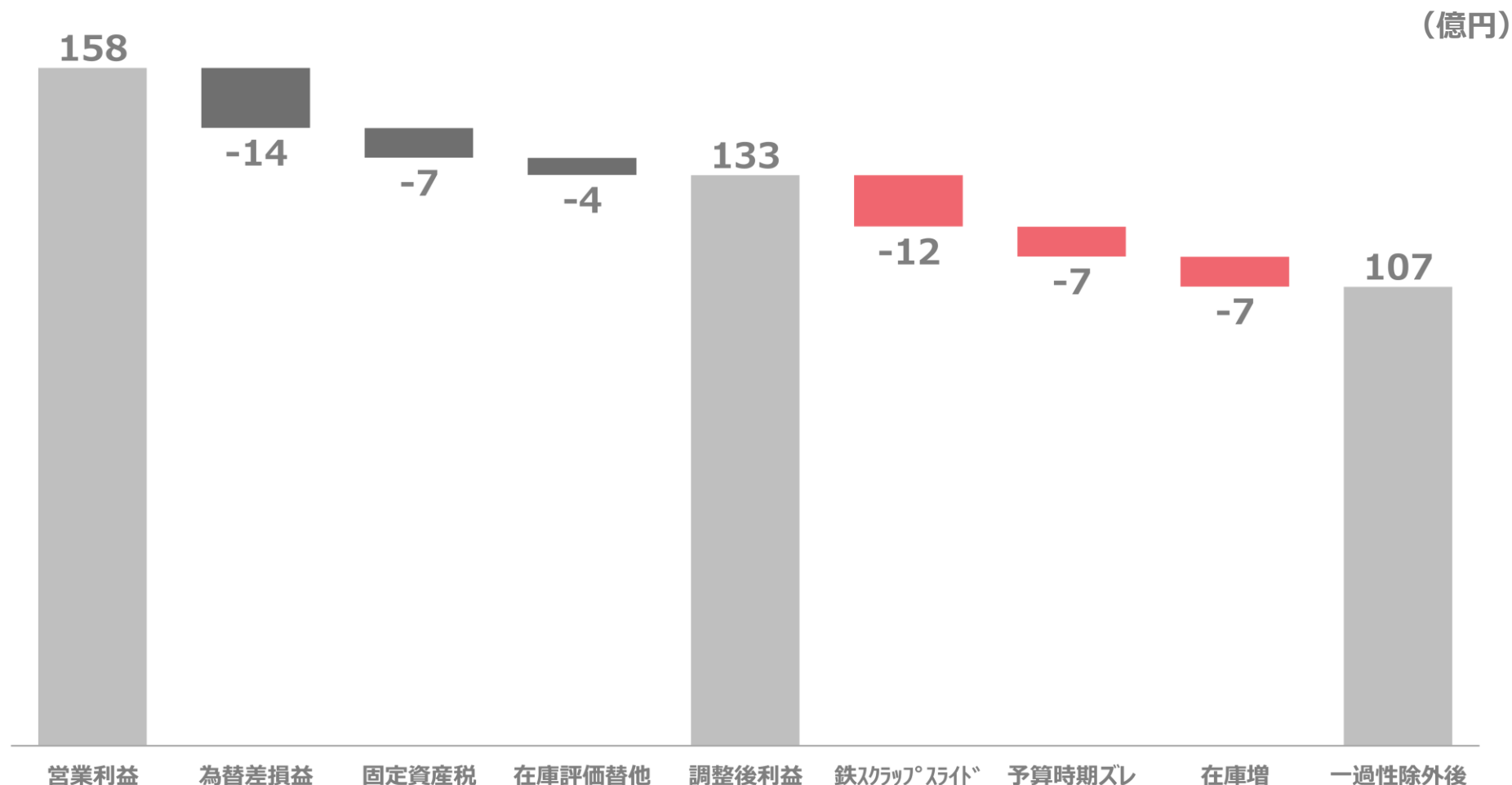
■ 24年4-12 営業利益の変化要因（前年差）

(億円)



■ 24年10-12 営業利益の一過性影響

☑ 24年10-12の調整後営業利益に含まれている一過性要因は下記のとおり。

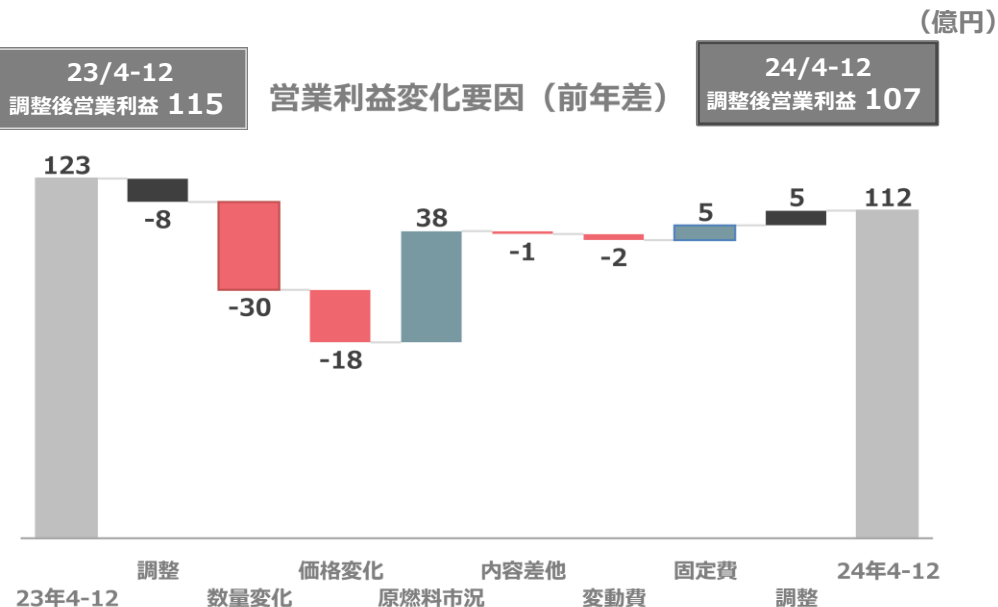
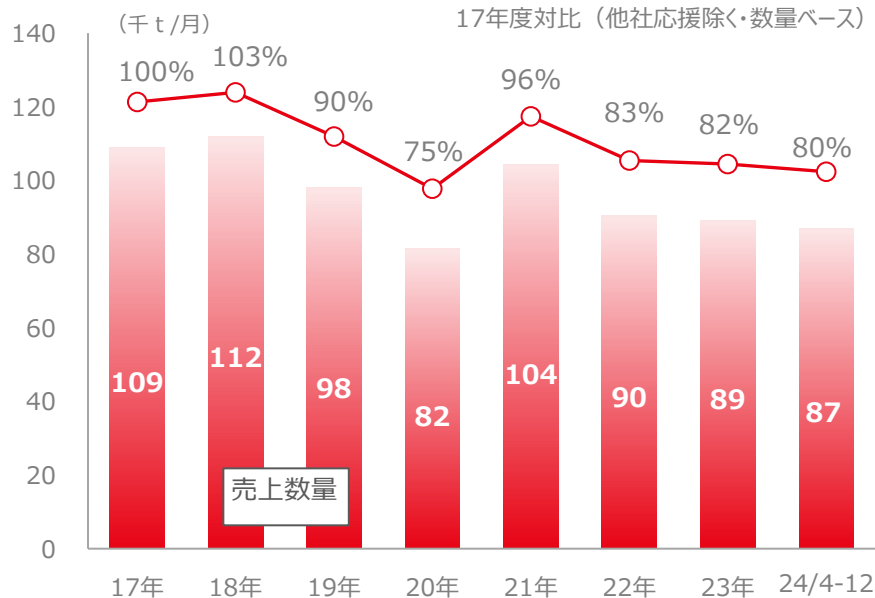


■ 特殊鋼鋼材概況

	23年		24年		前年差	
	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計
売上収益	589	1,675	549	1,604	-40	-71
営業利益	60	123	51	112	-9	-11
調整後営業利益 ※	60	115	44	107	-16	-8
スライドギャップ	2	3	12	18	10	15

※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税(平準化)を補正

<鋼材売上数量(単体)>



POINT

- ✓ 中国における日系OEMの自動車生産減少を受け、構造用鋼の売上数量は前年比で減少。
- ✓ 利益面では、鉄スクラップスライドギャップ、冬季電力単価の上昇を見据えた在庫積み増しによる固定費負担の軽減効果もあり、若干の減益に留まる。

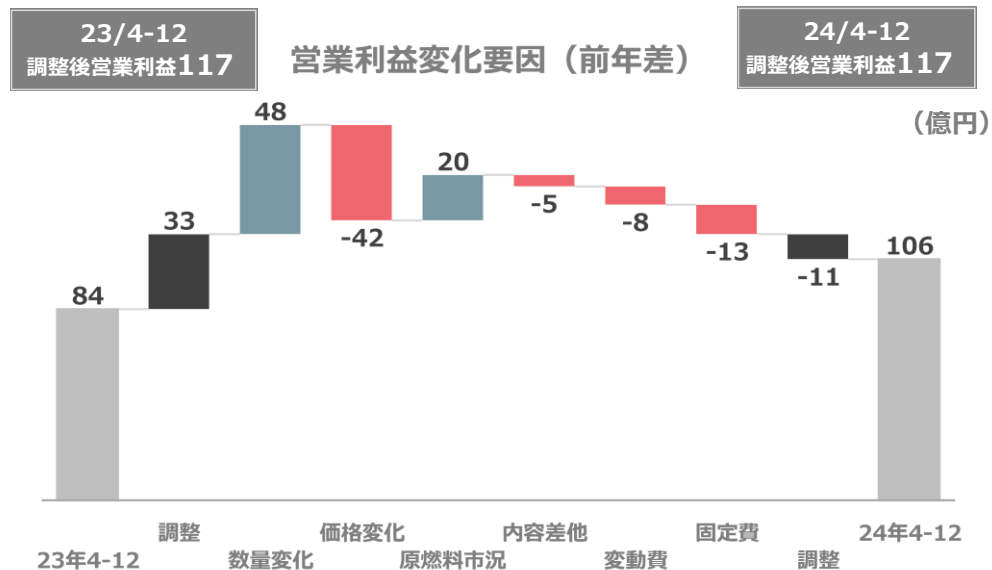
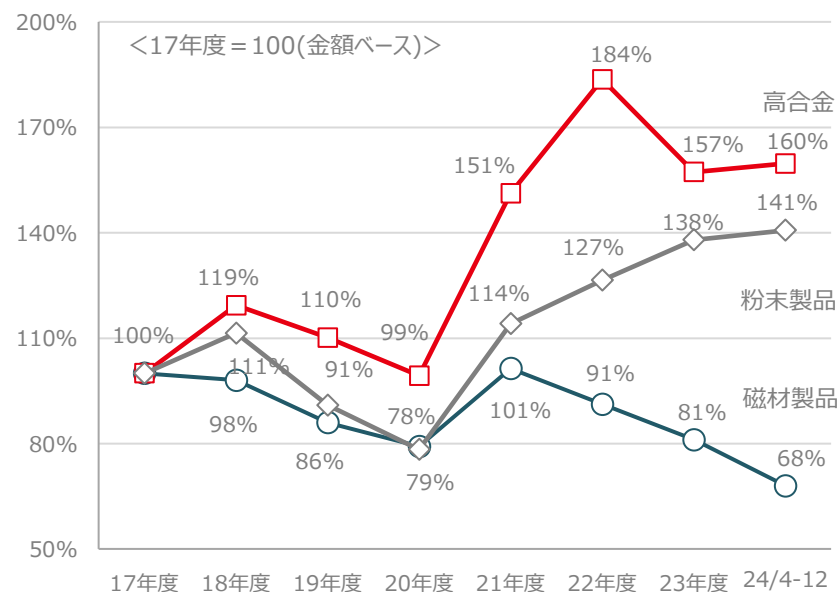
機能材料・磁性材料概況

(億円)

	23年		24年		前年差	
	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計
売上収益	508	1,531	530	1,531	22	0
営業利益	34	84	55	106	21	22
調整後営業利益 ※	49	117	44	117	-5	0

※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税(平準化)を補正

<高合金・磁材製品・粉末製品（売上高）>



POINT

- ✓ ステンレス鋼は産業機械関連需要の回復基調、上期におけるHDDの一時的な需要増を受けて、売上数量は増加。足元では半導体製造装置向けも回復。
- ✓ 全社鋼材生産数量が低位のなか、変動費や固定費のセグメント間の負担割合が前年対比増加。
- ✓ ニッケル市況下落に伴う高合金スライド影響もあり、調整後営業利益は前年並み。

自動車部品・産業機械部品概況

(億円)

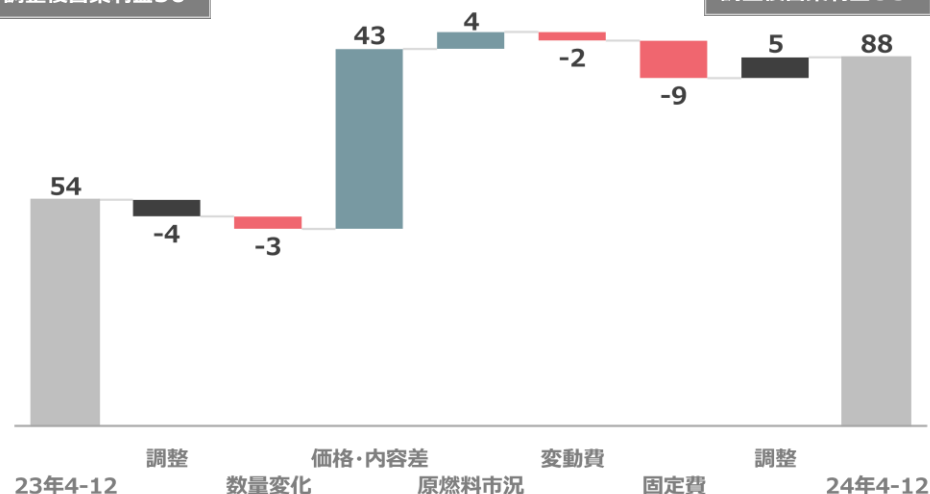
	23年		24年		前年差	
	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計
売上収益	275	786	301	838	26	52
営業利益	22	54	39	88	17	34
調整後営業利益 ※	24	50	34	83	10	33

※特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税(平準化)を補正

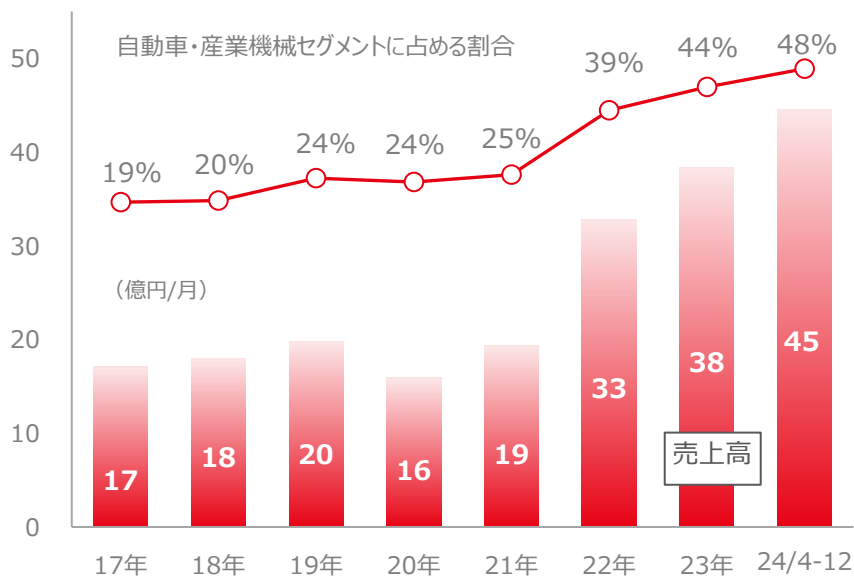
23/4-12
調整後営業利益50

営業利益変化要因 (前年差)

24/4-12
調整後営業利益83



<自由鍛造品 (売上高)>



POINT

- ✓ 自由鍛造品は好調な航空機関連、重電、掘削関係の需要を確実に出荷に結び付け増益を達成。
- ✓ 関連会社でのエンジンバルブは北米などの需要増を受けて利益面でも伸長。

参考資料

■ 営業利益の調整項目推移

(億円)

		2023年度					2024年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	合計
営業利益		87	90	204	42	423	101	82	158	341
調 整	特別損益	0	25	-65	15	-25	20	3	1	24
	為替差損益	-6	-3	7	-7	-9	-8	24	-14	2
	在庫評価損益	6	-6	9	3	12	-8	7	-5	-6
	環境費用引当	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	固定資産税 (平準化)	-7	-7	-7	20	-1	-7	-8	-7	-22
小計		-7	9	-56	31	-23	-3	27	-25	-1
調整後営業利益		80	99	148	73	400	98	109	133	340

(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。